

学生議会

質問通告書一覧

令和5年8月23日

【発言の順番】

- | | | | | |
|-----|-----------|------------------------|---------------------------|----------------------|
| 1番 | 幡豆中学校 | <small>みうら</small> 三浦 | <small>あみ</small> 彩未さん | 「わたしたちの「にしがま線」」 |
| 2番 | 東部中学校 | <small>こばやし</small> 小林 | <small>あんな</small> 杏奈さん | 「全ての地域に安全を」 |
| 3番 | 一色中学校 | <small>おおおか</small> 大岡 | <small>ゆうき</small> 優生さん | 「我が一色町を誇れる町に」 |
| 4番 | 鶴城中学校 | <small>あさい</small> 浅井 | <small>わかな</small> 若菜さん | 「若い世代の居場所づくり」 |
| 5番 | 寺津中学校 | <small>いぬづか</small> 犬塚 | <small>りょうすけ</small> 涼介さん | 「西尾市の観光について」 |
| 6番 | 福地中学校 | <small>あおやま</small> 青山 | <small>あん</small> 杏さん | 「市民が誇れる町づくり」 |
| 7番 | 平坂中学校 | <small>よしかわ</small> 吉川 | <small>みずき</small> 瑞規さん | 「名鉄西尾・蒲郡線を活用した地域活性化」 |
| 8番 | 佐久島しおさい学校 | <small>かとう</small> 加藤 | <small>ひより</small> 日和さん | 「地域の特産物、資源を大切に」 |
| 9番 | 西尾中学校 | <small>てしま</small> 手島 | <small>ゆめ</small> 結萌さん | 「三河の小京都 西尾」 |
| 10番 | 吉良中学校 | <small>せがわ</small> 瀬川 | はなさん | 「人でのぎわうきれいな海にするために」 |

学生議会 質問通告書

【中学校名：幡豆中学校】

ふりがな 氏 名	みうら あみ 三浦 彩未	学年等	3年1組
-------------	-----------------	-----	------

テーマ	わたしたちの「にしがま線」
現状や課題 意見・提案事項	<p>私たち幡豆中学校の生徒は、普段から名鉄西尾・蒲郡線、通称「にしがま線」をよく利用します。友達と遊びに行く時、祖父母に会いに行く時など、「にしがま線」は、私たちの生活になくてはならないものです。そんな大切な「にしがま線」ですが、近年廃線の危機の路線となっています。</p> <p>その理由は、西尾駅から蒲郡駅までの区間は利用者が少なく、年間7億8,000万円もの赤字が続いているからだそうです。「にしがま線」が廃線になると、私たちの今後の移動手段はどうになってしまうのかと、大きな不安を感じます。今のところは、令和7年度までの存続は確定していますが、その後はどうなるのでしょうか。私たちは来年度高校へ進学し、多くの人が登下校で「にしがま線」を利用する予定です。また、高校生になれば、今よりも行動範囲が広がり、市外に遊びに行ったり、部活動の試合に参加するときに利用したりすると思います。</p> <p>「にしがま線」が廃止されれば、自転車で遠くまで行けない小学生や、自動車の運転をしない地域の方々の行動範囲も限られてしまいます。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<p>1 赤字対策として、「にしがま線」を利用する人の年代別の割合や、時間帯ごとの利用者数を調べ、その結果により、利用者が少ない時間帯の車両数を減らしたり、運行をとりやめたりしてはどうですか。</p> <p>2 幡豆中学校では、毎年「にしがま線夢シーサイドウォーク」という、「にしがま線」を使って移動し、海岸線を歩く行事を行っています。廃線の危機であるという意識を広く共有するため、市内の中学生を対象にイベントを行ってはどうですか。</p> <p>3 「にしがま線」沿線に魅力的な施設を誘致するとともに、スタンプラリーなどのイベントを実施して、「にしがま線」を利用した人への特典を設けてはどうですか。</p>

学生議会 質問通告書

【中学校名：東部中学校】

ふりがな 氏 名	こばやし あんな 小林 杏奈	学年等	3 年 C 組
-------------	-------------------	-----	---------

テーマ	全ての地域に安全を
現状や課題 意見・提案事項	<p>最近、私が気になっていることは「通学路に潜む危険」です。安全なはずの通学路で子どもたちが巻き込まれる交通事故は、全国各地であとを絶ちません。愛知県の交通事故死者数は、平成 27 年以降減少傾向にあり、令和元年に 16 年連続ワースト 1 位を脱却しました。しかし、令和 3 年を除き全国ワースト 2 位と依然高い順位が続いており、早急な対応が求められています。</p> <p>東部中学校においても、昨年度、東部中学生と車との接触事故が発生しました。登下校中の事故を防止するため、個々に交通安全についての意識を高めるため、学校で繰り返し話があります。</p> <p>今年 5 月には、通学路として使用している道路で、車同士の衝突事故がありました。東部中学校区には、見通しの悪い場所がいくつかあります。「止まれ」や「一時停止」の標識がある場所やカーブミラーが設置されている場所は、見通しが悪くて事故の危険性が高いということ。見通しの悪い場所には、カーブミラーが必要だと思いますが、カーブミラーにも死角があるので、必ず目視による安全確認が必要です。私が通る通学路には、見通しが悪くてもカーブミラーが設置されていないところがまだあるので、大変危険だと感じています。</p> <p>実際に私は、カーブミラーのない見通しの悪い場所を自転車で通るとき、車が来ないか身を乗り出して確認しようとして、危険な思いをしたことがありました。</p> <p>西尾警察署が発表している交通事故発生状況を見ると、死者数は減少傾向ですが、未だ「交通事故死ゼロ」にはなっていません。交通事故につながる原因の 1 つとして、安全不確認が挙げられます。私は、この原因には、カーブミラーが深く関わっていると考えました。</p> <p>そこで、西尾市内での交通事故を減らすために、市内小中学生が交通事故にあった場所をまとめ、その場所を地図に印し、ヴェルサウォークやシャオなど、多くの人に見てもらえる商業施設に掲示したり、広報にしおに掲載したり、SNS を活用して情報発信するなど、</p>

	<p>広く市民に周知し、意識を高めてもらってはどうか。</p> <p>また、同時に、交通事故が発生した場所には、何か原因があると思うので、カーブミラーを優先的に設置するなど交通安全対策を早急に進めてほしいと思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p>質 問</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 今までに市内小中学生が交通事故にあった場所をまとめ、市民に情報発信したことはありますか。 2 小中学生と車との接触事故を減らすため、市内小中学生の交通事故情報を基にカーブミラーを設置するなどの交通安全対策を実施しませんか。

学生議会 質問通告書

【中学校名：一色中学校】

ふりがな 氏 名	おおおか ゆうき 大岡 優生	学年等	3年6組
-------------	-------------------	-----	------

テーマ	我が一色町を誇れる町に
現状や課題 意見・提案事項	<p>突然ですが、みなさんは一色町の魅力を知っていますか。一色町には、うなぎや大提灯、カーネーションなどの魅力がたくさんあります。これまでも一色町の人々は、自分たちの地域を盛り上げようとたくさんの人や企業が努力を重ねてきました。</p> <p>市政方針には「一色さかな広場を中心に一色港エリアのにぎわいを創出」とあります。しかし、他の地域の人には、なかなか知ってもらう機会がないのが現状です。僕は交通の不便さや、僕たち若い世代が、自分たちの町の魅力に目を向けられていないことに原因があると思いました。</p> <p>そこで、僕は、学生が自分たちの町についてもっと知り、それを他の地域の人々にアピールする機会を設けることが必要だと考えました。</p> <p>また、三河線の廃線によって、現在の一色町は、市の中心部から観光施設へのアクセスが悪く、公共交通を利用する観光客が訪れにくかったり、逆に一色町に住む高齢者や学生が市の中心部にアクセスしにくかったりする状況があります。一色町へのアクセスをよりよいものとするべく、鉄道の再開通や、現在の主な移動手段となるバスの本数や新たな巡回ルートを増設するなど、公共交通の一層の充実を提案します。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<p>1 地域の魅力を広げていくため、学生と協力して、町の良さアピールする企画を3つ提案します。</p> <p>① 一色地区の大提灯祭りの案内・説明ボランティアの募集</p> <p>② 旧幡豆郡校区の学生の茶摘み体験の機会を設ける</p> <p>③ 各中学校区の学生のプレゼンによる地域の魅力発信</p> <p>です。これらの提案について、どのようにお考えでしょうか。</p> <p>2 一色町を通過していた名鉄三河線は平成16年に廃止されましたが、名鉄三河線を再開通したり、名鉄東部交通バスやいっちゃ</p>

	<p>んバスの本数や巡回ルートを増やしたりする計画はありますか。</p>
--	--------------------------------------

学生議会 質問通告書

【中学校名：鶴城中学校】

ふりがな 氏 名	あさい わかな 浅井 若菜	学年等	3年7組
-------------	------------------	-----	------

テーマ	若い世代の居場所づくり
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>私の1日の中心は、学校生活です。授業や部活動を通して、先生や友達と楽しく過ごし、休日には友達や家族と出かけるなど毎日充実した生活を送ることができています。</p> <p>一方、私が毎年楽しみにしている事は、友達と一緒にいく西尾祇園祭と米津の川祭りです。西尾市は、西尾祇園祭をはじめ、様々な祭りやイベントが開催されています。最近では、市民主体でマルシェが行われるなど、少しずつまちが元気になっているように感じますが、市内で行われるイベントは大人向けやファミリー向けのものがほとんどで、中学生向けにはありません。</p> <p>そこで、私は、中学生や高校生など若者向けのイベントの開催を提案します。</p> <p>ふれあいセンターなどでは、高齢者向けの「スマホ講座」や「パソコン講座」があり、シニア生活をより楽しくアクティブにするためのきっかけづくりになっているそうです。高齢者向けの講座があるならば、若い世代が自分の存在意義を認められるような、現役の高校生や大学生主体の講座も開設してはどうでしょうか。今や情報発信に欠かせないSNS。現役の高校生や大学生が講師となり、SNSとは何かという基礎や活用方法を学び、気軽に情報発信できるような「動画編集講座」や「盛れる映える写真講座」などを開設してはどうでしょうか。</p> <p>また、鶴城中学校では「中学祭」という行事があります。全校生徒が心をひとつに合わせて歌を歌うことで、お互いの気持ちが近くなる素晴らしい行事です。この行事を、市内の全ての中学校を対象としたイベントにしてはどうでしょうか。</p> <p>近年は、人と人との関係が薄くなり、学校以外での自分たちの居場所や遊ぶ場所、学ぶ場所も限られたものになっているように感じます。また、両親の共働きや、長時間労働で帰宅時間が遅くなるなど、子どもが家族との時間に恵まれないという課題もあります。そこで、誰もが気軽に立ち寄れ、学校の休み時間のように過ごせる場</p>

	<p>所、安心して過ごせる居場所づくりを西尾市で積極的に進めてはどうかと考えます。そうすれば、学校に足が向かない生徒達にも居場所を提供できます。</p> <p>そこで、質問します。</p>
質 問	<ol style="list-style-type: none">1 若い世代が自分の存在意義を認められ、街の活性化に参加できるように、現役の高校生や大学生が講師となり、主体的に運営する「動画編集講座」や「盛れる映える写真講座」などを開設しませんか。2 市内の中学生を対象に、音楽に限定せず、中学生が主体となり、企画・運営する「中学祭」を、市が主催しませんか。3 誰もが気軽に立ち寄れ、安心して過ごせる居場所づくりを進めませんか。

学生議会 質問通告書

【中学校名：寺津中学校】

ふりがな 氏 名	いぬづか りょうすけ 犬塚 涼介	学年等	3年1組
-------------	---------------------	-----	------

テーマ	西尾市の観光について
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>僕は西尾市で生まれ、15年間暮らしています。西尾市で過ごす中で、観光面をもっと活性化させたいと思い市の取組みを調べてみると、様々な体験活動があることが分かりました。例えば、茶摘み、えびせんべいの手焼き、魚のさばき体験などです。また、体験を行うことができるツアーもあります。例えば、「一色満喫！うなぎの食事と体験ツアー」「西尾の魅力発信観光ツアー」などは実際に体験してみたいと思いました。ただし、ツアーに参加するには5千円～8千円程の参加料がかかります。中学生の僕にとってはかなりの金額がかかるのと、ツアー開催日が限られているので参加することはできませんでした。</p> <p>西尾市では公式LINEを用いてイベントの情報発信をしたり、観光スポットをめぐり、特産品を味わうツアーなどを企画することで、市内外の方に魅力を発信していることも分かりました。しかし、せっかく魅力的な情報を発信しているのに、若い人にとっては参加料が高額であったり、開催日時が限定されていたりと、気軽に楽しむことができないと思いました。そこで、僕は西尾市として日常的に楽しむことができるアプリを配信することを提案します。</p> <p>今、西尾市には防災やごみ分別のアプリや観光協会のスタンプラリーアプリはありますが、まち歩きできる観光アプリはありません。そこで、ポケモンGOのような位置情報ゲームアプリを作り、観光スポットを巡って楽しむことができるようにしてはどうですか。更に、このアプリでお店や史跡を巡るとクーポンなどを手に入れることができ、市内の店舗で使用できるようにしてはどうですか。</p> <p>僕が住む寺津地区には、赤地藏、大仏（おおぼとけ）、フレスカなどのテレビで紹介された場所や、地域に根ざしたお店がたくさんあります。また、枯木宮貝塚や寺津八幡社など、歴史を知る上で重要な史跡もあります。観光アプリで地元の寺津や西尾の魅力を市内の人々はもちろん、市外の方々にも楽しんでいただき、西尾市の魅</p>

	<p>力を広く発信することができれば観光DXの取り組みにもなると考えます。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<ol style="list-style-type: none">1 今後、各種体験ツアーの回数を増やしたり、学生料金を設定するなど、若い世代が参加しやすい工夫をしませんか。2 お店や史跡を巡るとクーポンがもらえるなど、多くの人々が日常的に楽しむことができる、位置情報を利用した観光アプリ配信を行い、観光のデジタル化を進めてみませんか。

学生議会 質問通告書

【中学校名：福地中学校】

ふりがな 氏 名	あおやま 青山 あん 杏	学年等	3年3組
-------------	-------------------------	-----	------

テーマ	市民が誇れる町づくり
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>現在、私は、学校の社会科の授業で現代史や公民の内容を学習していますが、現代史の学習のキーワードとして「持続可能性」が挙げられます。今を生きる私たちの世代の幸福と、将来の世代の幸福を両立させていくことは大切なことだと思います。私が生活する西尾市の未来を考えたとき、私たちの世代への期待が大きいことは理解しています。</p> <p>では、私たちの世代が将来西尾市に住みたいかと問われると、そうではない人が多いようです。統計的にはサンプル数が十分でないことは承知していますが、私の同級生約100人を対象に「将来西尾市に住みたいか」とアンケート調査をしたところ、60%の人が「住みたいと思わない」と答えました。</p> <p>その理由として、①西尾駅周辺地域と私たちが住む福地などとの地域差が大きい、②人が集まれるような場や施設が他市に比べて少ない、③現在西尾市に住んでいてワクワクするようなイベントが少ない、④西尾市が交流拠点と考えている場所は、名鉄西尾駅を中心とする都市拠点や、各支所を中心とする地域生活拠点のすぐ近くにあるわけではなく、山や海沿いの地域が多いため、車を持たない若い世代や高齢者が気軽に行けない、といったことが挙がってきました。</p> <p>「西尾市都市計画マスタープラン」では、「2030年まで人口はゆるやかに増加していく」と書かれています。今から7年後は、私たちの世代も社会に出ていく歳になります。マスタープランに示されている人口増加を確実なものにしておくためには、西尾市をより魅力的にし、私たちの世代が西尾市を居住地として選択したくなるまちにしていく必要があります。</p> <p>現在、国の政策として「異次元の少子化対策」が進められようとしています。子育て世代の人たちにとって金銭的な支援は非常に助かると思いますが、子育てをする環境も大切だと思います。西尾市に生活する多くの子育て世代の人は、子どもを公園で遊ばせるため</p>

	<p>に、わざわざ他市の公園に行きます。また、買い物も他市のショッピングモールに出かけることがあります。他市にさまざまなものを求めるということは、西尾市における公共・民間のサービスが十分でないことを意味します。</p> <p>このような現象が起こるのは、それぞれの市が、それぞれの「強み」を生かしたまちづくりをしているためだと思われませんが、西尾市の「強み」は何かと問われると、答えられない自分がいます。</p> <p>「大企業だけでなく、中小の優良企業が多数ある産業の町」、「抹茶やうなぎ、花きなどの特産品を生産する農業の町」、「西尾市歴史公園や国宝金蓮寺などをもつ歴史の町」、「吉良ワイキキビーチや佐久島アートを中心とした観光の町」。どれも魅力的ではありますが、「強み」と言えるまでではないと思います。まちづくりを進めていく上で、一つのものに集中しすぎることは良くないですが、どっちつかずになるのも良くないのではないかと思います。</p> <p>市民が、さまざまなサービスを楽しむやすくなることは「住みやすさ」につながり、自分の住むまちについて自信を持って語れるようになることは「誇り」につながると思います。「住みやすさ」と「誇り」を両立させていくことで、私たちの世代が将来も「住みたくなる」西尾市になっていくのではないのでしょうか。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p>質 問</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「西尾市都市計画マスタープラン」には、都市づくりの目標として9つ掲げていますが、目標によるまちづくりをどのように考えていますか。 2 都市づくりの目標⑤に、「豊かな自然環境と調和した都市づくり」とありますが、現在、一色中学校の近くに産業廃棄物の処分場がつくられようとしています。目標と逆行するように感じるのですが、それについてはどのように考えていますか。 3 都市づくりの目標⑦に、「受け継がれてきた歴史・文化を生かした都市づくり」とありますが、かつて歴史的価値のある旧井桁屋の取り壊しが行われるなど、失ってしまったものも多いように感じます。今後、歴史や文化をどのように生かしていくつもりですか。また、それを生かしたまちづくりとはどのようなものですか。 4 都市計画マスタープランに基づき都市をデザインしていくことは、市だけでは取り組めません。そこに暮らす人々や、企業の協力が必要不可欠です。今後の西尾市をデザインしていくうえで、官民が一体となるような取り組みや、市民の意見を反映できるような機会を考えていますか。

学生議会 質問通告書

【中学校名：平坂中学校】

ふりがな 氏 名	よしかわ みずき 吉川 瑞規	学年等	3年8組
-------------	-------------------	-----	------

テーマ	名鉄西尾・蒲郡線を活用した地域活性化
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>西尾には「吉良ワイキキビーチ」や「国宝の金蓮寺」「西尾の抹茶」「一色産うなぎ」などの多様な観光資源があります。コロナ禍以前の令和元年の観光客数が3,612,360人であることから西尾市の観光資源は大きな魅力をもっていると考えられます。</p> <p>しかし、これら多様な観光資源があったとしても、それぞれ一つずつはインパクトが十分ではないように感じます。</p> <p>また、市内にJR線が通っていないことや、名鉄西尾・蒲郡線が廃線の問題を抱えていることから、西尾市の公共交通網には弱さがあるように思います。実際に、西尾市を訪れる観光客の85%が自家用車で移動しているという調査結果もあります。インバウンドの観光客の呼び込みが観光業の成功において重要であることを考えれば、観光客が公共交通機関を利用しやすくすることで地域はさらに活性化すると思います。</p> <p>そこで、西尾市の地域活性化のために次の提案をします。</p> <p>それは、名鉄西尾・蒲郡線を利用した観光列車の企画です。西尾市は一色、吉良、幡豆とベイエリアを有しており、美しい三河湾や、自然豊かな山々を眺めることができます。その強みを生かし、名鉄西尾駅から蒲郡駅までの区間を、食事や抹茶スイーツを楽しみながら移動する観光列車を運行してはどうでしょうか。</p> <p>海外でも人気の抹茶スイーツをふるまえば、インパクトのある観光資源を広く知っていただく機会となり、他の観光資源と観光客を結びつけやすくなるはずです。さらに、名鉄西尾・蒲郡線の利用者が増えることで、廃線問題の解決に役立つのではないのでしょうか。また、名鉄線の利用者が増えれば、岡崎市や安城市のように、市内での名鉄線とJR線の乗り入れについて交渉できるようになると思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<p>1 インバウンドの観光客を呼び込む施策について、市はどのように考え、どのような取り組みをしていますか。</p>

	<p>2 現在、実現に向けて動いている、にしがま線を活用した観光地域づくりの取り組みはありますか。また、にしがま線において、ゆっくりと食事やお酒が楽しめる観光列車を運行しませんか。</p>
--	--

学生議会 質問通告書

【中学校名：佐久島しおさい学校】

ふりがな 氏 名	かとう ひより 加藤 日和	学年等	後期課程 3 年
-------------	------------------	-----	----------

テーマ	地域の特産物、資源を大切に
現状や課題 意見・提案事項	<p>令和4年1月に、「中国産アサリの産地偽装問題」がニュースで大きく報道されました。「熊本県産」として売られていたアサリの多くが実は中国産だったと分かり、ブランド品だったアサリの価値や熊本県への信頼はがくんと落ちました。僕も佐久島でアサリの養殖に関わっているので、このような問題が起きたことはショックでした。この事件は、小売店舗をはじめ、僕たち消費者を裏切ったような気がしました。</p> <p>僕はこの報道をきっかけに考えました。それは、地元の特産物をもっと大事に扱っていかないといけないということです。日本人は国産と外国産のものが売られていた場合、国産の方を手にとることが多いそうです。インターネットの意識調査では、「安全だ」「作っている人を信頼できる」という理由が圧倒的でした。作り手が分かることは安心につながるのだと思います。反対に、外国産を買う一番の理由は「安さ」でした。</p> <p>高くても良いものを食べたい人もいると思いますが、一方で、誰がどのように作っているか分からないのは不安だけれど、家計にやさしいから買う人もいます。矛盾しているように思えるけれど、そのようなことを考えながら買い物をする人はたくさんいると思います。消費者の視点に立つと、熊本産のアサリを信頼して買ったのに、実は中国産アサリを食べていたということで、だまされたという気持ちになったでしょう。西尾市では、このような偽装などの不正行為がどのように防止されているのか気になりました。</p> <p>次に生産者の視点から考えると、僕は、日本でも外国でも生産者はプライドを持って目の前のものを育てていると信じています。僕は、学校での総合的な学習の時間に「アサリの養殖」に取り組んで3年目になります。佐久島のアサリはおいしいと評判で、市内でも高値で売られています。しかし、そのアサリも年々数が減ってきているのが問題になっています。僕はアサリの養殖を「学校の勉強だから」と思っているのではなく、「大事な地域の財産だし、先輩か</p>

	<p>ら受け継がれていることだから続けたい」という気持ちで行っています。アサリの養殖は簡単ではないので、熊本だけでなく他の地域の生産者も頭を悩ませている状況も分かります。実際に、佐久島のアサリも他の地域で生まれた稚貝を買ってきて、長い間養殖しているものもあります。魚介類には「長いところルール」があり、養殖の場合、輸入された稚貝でも1年半以上育成されたものであれば、育成地を原産地として良いことになっています。そのため、僕も島の人たちも「島アサリ」として出荷できることを願いながら、稚貝を育てているのです。厳しい状況の中でも、自分が育てたものにプライドを持っている生産者の思いを知っているだけに、僕は「産地偽装」を許せませんでした。</p> <p>熊本のアサリ業者たちが厳しい状況の中でマイナスの決断をしてしまったのには、きっと理由があると思います。何とか地域で支え合い、このような行為が起こる前に食い止めることができなかったのか、とても気になりました。そして、西尾市の中でこのようなことが起きないようにして欲しいと思いました。地域の中で地域の特産品や資源を守っていける体制が整っていれば、生産者もプライドを持って地域資源を育てることができ、僕自身も、引き続き佐久島のアサリ養殖に前向きに関わっていきます。</p> <p>そこで、農水産業従事者の生の声を聞く機会が定期的にあるのか、また農水産業従事者が困ったときに相談できる場所があるのか気になりました。</p> <p>そこで、次の2点について質問します。</p>
<p>質 問</p>	<p>1 西尾市には安全で良質な農水産物が数多くあります。それらを育成・出荷・販売する際に、産地偽装などの不正行為が起きないための対策をしていますか。また、対策をしているのであれば、どのような内容ですか。</p> <p>2 農水産業従事者を支援する目的で市が、農水産業従事者の生の声を聞く機会が定期的にありますか。また、農水産業従事者が困ったときの相談窓口がありますか。</p>

学生議会 質問通告書

【中学校名：西尾中学校】

ふりがな 氏 名	てしま ゆめ 手島 結萌	学年等	3年7組
-------------	-----------------	-----	------

テーマ	三河の小京都 西尾
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>西尾は、「三河の小京都」と呼ばれており、京都市を含む38市町が加盟する全国京都会議でも認定されていると、ある記事で目にしました。</p> <p>小京都に認定されるためには、①京都に似た自然景観、町並み、たたずまいがある、②京都と歴史的なつながりがある、③伝統的な産業、芸能があるという3つの条件のうち、一つ以上あてはまるものが基準とされています。</p> <p>そんな、「小京都」を象徴する西尾城周辺から、歴史的な観光地である伊文神社や岩瀬文庫までが遠いため、その間にある地域をより魅力あるものにしていくことも必要だと感じています。</p> <p>西尾市観光協会のホームページの観光街道モデルコースの中に、小京都にしお「城下町歴史小径散策」Aコースがあります。六万石の城下町として栄えた小京都西尾を感じられるコースで、西尾城のある歴史公園周辺、康全寺や伊文神社などの神社仏閣、肴町や順海町といった城下町のたたずまいが残る町並みなどを訪れますが、体験できるところが少ないと感じます。</p> <p>食べ歩きができたり、抹茶、みそ、うなぎなどの地元の産業を盛り上げるために、実際に抹茶を挽いたり点てたりするワークショップを開いてはどうでしょうか。</p> <p>追体験することで西尾の産業に興味を持ってもらうことができますし、実際に知ってもらうことで市内に多くある歴史的な観光地に行ってもらえると思います。その中で、私たちのような学生がボランティアでワークショップ運営の手伝いやごみ拾いをしたり、市内小中学校の茶道部による呈茶サービス、家庭科部によるハンドメイド品の販売や美術部による作品展示などを行うことで、西尾の観光を盛り上げたいと考えています。</p>
<p>質 問</p>	<p>1 みなとまつりなど、地場産業や特産品を知ってもらうためのイベントを開催していますが、観光振興及び産業振興の今後の課題は何だと考えますか。</p>

	2 歴史公園周辺の整備が今後進む中で、城跡や城下町を活かしたまちづくりについて、市の展望を教えてください。
--	---

学生議会 質問通告書

【中学校名：吉良中学校】

ふりがな 氏名	せがわ 瀬川 はな	学年等	3年4組
------------	--------------	-----	------

テーマ	人でにぎわうきれいな海にするために
現状や課題 意見・提案事項	<p>私は、父の影響で海が大好きです。以前、長崎に住んでいましたが、長崎の海に比べると、西尾の海は少し汚いように感じました。西尾で育った友人は「前よりかなりきれいになったよ」と言っていたので、以前はもっと汚かったのかと疑問をもち、西尾の海の現状について調べてみることにしました。</p> <p>令和4年の「全国水が汚い海水浴場ランキング」では、寺部海水浴場が3位にランクインしています。また、宮崎海水浴は令和元年に、日本一汚い海水浴場とされてしまいました。令和4年の調査では19位だったので、徐々に改善はされていると思いますが、残念ながら上位に位置しています。ちなみに、令和4年の調査で西尾市の海水浴場は、23位までに3か所ランクインしていました。</p> <p>海水浴場は、観光資源としてとても価値があると私は考えます。西尾の海をきれいにしたら、観光客も増え、西尾市が活気づくのではないのでしょうか。コロナ禍で減少していた外国人観光客も、多く日本を訪れているとニュースで報道されています。インバウンドによって、西尾の経済も支えられるのではないのでしょうか。</p> <p>愛知県の取り組みとして、海ゴミ問題を伝え、広く関心を持ってもらうためのパンフレットや動画の作成をされているとのことですが、多くの県民に届いていないと思います。私自身も、今回調べてみて初めて知りましたので、受け身でも情報が届くような仕組みが必要だと感じました。</p> <p>私たちの世代はSNSで情報を知ることが多いです。例えば、シティプロモーション大使の皆さんに、SNSを活用して西尾の海の現状を発信してもらい、環境保全対策や環境美化の意識を高めてもらってはどうか。また、地域の学生やボランティアの方々と協力して清掃活動を行うことや、海に観光客を集めるイベントを今以上に増やすことで、外国人観光客などが多数訪れる「人でにぎわう吉良の海」になると思います。</p> <p>そこで質問します。</p>
質問	1 西尾市の海水浴場は水質及びごみの両方で汚いという問題に対して、私たちはボランティア活動に参加していくべきだと考えていますが、市として他にどのような解決方法を考えていますか。

	<p>2 沖縄県では、県民が自然に恩返ししたいという思いでボランティアの方々が定期的に清掃活動を行っているそうです。西尾市は今後そういった活動を観光PRと組み合わせて行う予定はありますか。</p>
--	--